

令和8年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(総合型選抜Ⅰ)

小 論 文

(地域学部 地域学科 人間形成コース)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は4ページ、解答用紙は4枚、下書用紙は4枚である。
指示があってから確認し、乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所等がある場合は、ただちに試験監督者に申し出ること。
3. 解答は解答用紙(横書き)に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

問題 I 次の英文は、公立夜間中学に関する新聞記事である。英文を読んで、問1、問2に答えなさい。

Public night junior high schools¹ used to be a place of learning for those who could not attend school due to poverty or other reasons during the confusion of the post-World War II period. (1) In recent years, the role of these schools has diversified, with an increasing number of attendees² made up of foreign nationals and students who have been away from school.

A nighttime junior high school opened from the 2020 school year at Mitsukaido Junior High School³ in Joso⁴, Ibaraki Prefecture, attended by 29 students in their 10s to 70s from around the city. Classes are held five days a week, with four classes per day (40 minutes per class). The school offers the same nine subjects as daytime junior high schools, including Japanese, mathematics and English, as well as moral education and comprehensive learning time⁵.

Of the students, 21, or 70%, are foreign nationals from 10 different countries, including Pakistan and Nepal, with Brazilians accounting for the largest number at eight. These are students who knocked on the door of the school because they were not able to get sufficient compulsory education in their home countries or in Japan.

Batoor Iftikhar, 16, from Afghanistan entered the school with his younger sister in April. He came to Japan with his family several years ago. Due to the war, he was unable to attend elementary school in his home country, and although he went on to junior high school in Japan, he did not fit in and was often absent.

"I want to do my best in Japanese and become a teacher of the language for children, because I had a hard time understanding it myself," he said.

[中略]

Many of the eight Japanese students have been out of school for some time. Yuki Kuramochi, 22, stayed at home for about nine years, starting in May during his first year of junior high school, due to bullying he suffered in elementary school. Since April 2020, when he entered the night junior high school, he has been attending all classes.

"All of my classes are fun. I think what I'm studying now is for the future," he says. He is now thinking of taking the high school equivalency exam⁶.

There are 17 teachers, and (2) they take care to make sure that "no one is left behind." The basic principle of the school is "team teaching," with three to four teachers in a classroom, switching students according to their level of learning and Japanese proficiency⁷. On the board, kanji characters are written with "furigana" phonetic

characters⁸ to assist in reading, and software that automatically translates audio into text in various languages is used, along with videos.

Hiroyuki Onozawa, a teacher in charge of⁹ mathematics, said, "Every day, we try to think of ways to make the class more interesting. This is the starting point. I would be happy if this class becomes an opportunity for them to live with confidence."

注

¹ Public night junior high schools : 公立夜間中学

² attendee(s) : 参加者

³ Mitsukaido Junior High School : 水海道中学校

⁴ Joso : 常総市

⁵ comprehensive learning time : 総合的な学習の時間

⁶ the high school equivalency exam : 高等学校卒業程度認定試験

⁷ proficiency : 熟達度

⁸ phonetic characters : 表音文字

⁹ in charge of : ~を担当する

出典 : "Night junior high schools in Japan offer chance for an education but more needed", *The Mainichi*, May 24, 2021.

<https://mainichi.jp/english/articles/20210524/p2a/00m/0na/030000c>

(2025年6月1日アクセス)

問1 下線部(1)に関して、現在の公立夜間中学ではどのような生徒が増えているか。本文の事例に基づきながら日本語で述べなさい(150字以内)。

問2 下線部(2)とあるが、公立夜間中学に通う生徒に対してどのような支援が必要と考えられるか。あなたの考えを日本語で述べなさい(400字以内)。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、問1、問2に答えなさい。

社会派教師とは、私自身の造語である。その暫定的な定義は、以下のようなものである。「差別や不平等や格差といった社会問題に関心を持ち、教育の力によってそれらを克服し、よりよい社会を築いていこうとする意志を持つ教師」。

この教師像の背景には、私自身がよりどころとしてきた教育社会学¹という学問がある。私は、現代の教師がすぐれた教師であるためには、教育社会的な知識や素養を身につけることが必須だと考えるのであるが、残念ながら現在の教職課程のカリキュラムは、次節で述べるように心理学的な「偏り」がきわめて強いと思われる。教師たちはおおむねまじめに、善意を持って子どもたちにあたるのであるが、教育社会的視座を欠いているために、その働きかけは「個人的成長」の枠組みを超え出ることが少ない。そして、現在の社会のなかにある矛盾や不合理を問いただしたり、社会的な差別や不平等をなくしていこうとしたりする志向性を子どもたちに十分に育むことができないように思われてならない。

社会に勢いがあり、右肩上がりの「成長」を遂げることを期待できていた時代であれば、それでまだよかったのかもしれない。経済成長のおかげで、諸個人が享受できる「パイ」は大きくなる一方だった。しかしながら、今日の日本社会はもはやそのような状況にない。格差や不平等、あるいは差別や抑圧が、日常的なものとして意識されるようになり、人々の生活をどのように豊かで、意義あるものにしていくかという問いが、解決すべき大きな今日の課題として浮上してきている。

(1) 心理学をベースとする教育観・教師観のもとでは、社会の不平等な構造や差別的な社会体制・社会的仕組みは議論の俎上²にのぼり²にくく、その結果としてそれらは等閑視³され、温存される傾向にある。他方、教育社会学においては、文化的再生産論という考え方が今から半世紀ほども前に生み出され、「学校内での文化伝達の過程を通じて、社会構造のなかにある不平等や差別的体質が世代をこえて再生産されている」と議論されてきた。そこでは、学校教師は、ある意味「再生産の代理人」と位置づけられる。もちろん、教師は自らを「再生産の手先」などと思っているわけではない。主観的には、子どもたちの成長・発達に少しでも寄与したいと願い、全力を尽くしている。それが結果的に再生産につながっているのだ、と教育社会学は主張する。もちろん、教師だけの力でこの(2) 再生産のサイクルをストップさせることは難しい、と私は考える。しかし、そのこと、すなわち学校・教師は、不平等や格差再生産のエージェント⁴となりがちであるという事実をまず認識することは必要だろう。現実を認識すること、そしてできるところからそれを変えるべく、仲間たちとともに行動していくこと。私が考える現代的教師の理想像のベースはそこにある。厳密に言うなら、そうした教師は「教育社会的教師」と呼ぶべきなのであるが、それでは長いし、わかりにくいので、ここでは意味をとって「社会派教師」と名づけることにする。

注

¹教育社会学：教育と社会との相互関係を実証的に研究する学問。

²俎上にのぼる：議論や批判の対象として取り上げること。

³等閑視：いいかげんに扱って、放っておくこと。なおざりにすること。

⁴エージェント：担い手、または主体のこと。

出典：志水宏吉『教師の底力 社会派教師が未来を拓く』学事出版、2021年、56・57頁。

問1 下線部（1）「心理学をベースとする教育観・教師観のもとでは、社会の不平等な構造や差別的な社会体制・社会的仕組みは議論の俎上にのぼりにくく」とあるが、そのことがなぜ問題であると筆者は考えているのか。本文の言葉を用いて述べよ（60字以内）。

問2 下線部（2）「再生産のサイクルをストップさせる」ためには、どのようなことを行うことが必要だろうか。あなた自身ができることを具体的に述べなさい（600字以内）。